



SHOW COM

Vol.6

～最新のお笑い情報をいち早くお届けするフリーぺーパー『SHOW COM』(ショーコン)～

ラブレターズ

Interview 01



●『LOVE LETTERZ MADE「SIREN」』は昨年末に開催されたオール新ネタの傑作ライブを収録したものですが、ライブ制作の取っかかりはどこから?

塚本直毅（以下、塚本）：いつも最初に、ライブのタイトルを溜口が決めてくれるんですよ。それで『SIREN』と決まったので、“サイレンをどう絡めよう”というのが初めに考えたことですね。

●タイトルを『SIREN』にした理由は?

溜口佑太朗（以下、溜口）：自分たちから警鐘を鳴らさないとヤバい時代なので、“どんどん発信していかないと”と考えていたんです。『キングオブコント』（2011・2014 決勝進出）が終わって、一回落ちついで周りを見渡してみたら、お笑い界全体が暗い話ばかりで。今はまたちょっと盛り上がってきたけどね。当時は“受け身でいたら、とんでもないことになってしまう”と思ったんです。

●ということは、このDVDはある意味、ラブレターズの悲鳴だと。

溜口：そうですね、悲鳴ですし、自分たちの居場所を確保するために“ここでやつてるぞ”と知らせる意味のサイレンです。

●そして、内容に関しては……。

塚本：『キングオブコント』に出た後ですし、賞レースを無視して、ネタを自由に考えてみようと。好き勝手やってみようと考えたのが、このライブです。

●確かに、自由さを感じました。その中

でもお気に入りのネタは?

溜口：僕は「夢オチ」です。むちゃくちゃ面白いです。絵本になるくらいのファンタジーです。

塚本：あんな絵本、怖いしょ!

溜口：基本的に塚本が台本を書くんですが、このネタに関しては設定を僕が考えたんです。だから“作品になった”という思い入れもありますし。

塚本：僕は「Stuffed Toy Story」が作っていて面白かったかな。普段作るようなネタじゃないですから。

溜口：このネタは塚本が考えたのに、僕の演じるキャラが気持ち悪くて……。僕の性癖かと思われるのがシャクです（笑）。全部、塚本の性癖ですか！

塚本：確かに欲望は詰まっているけどね（笑）。あとは、お父さんのパソコン履歴が見られてしまう「大人なんて…」も好きです。これは実際にある危険なので、皆さん気をつけてください！

溜口：誰に注意喚起をしてるんだよ！

塚本：世のお父様方だよ。気をつけないと、エロいのを見てたってバレちゃうからね。

●と言うことは、ネタは全部、塚本さんが書いたんですね。代わりに、合間のVTRは「ためぐち劇場4コマ格言」「鏡の中のタメオネット」と、溜口さんの制作。これは、あえて分担したんですか？

溜口：塚本がネタを作っている間、僕はやることがなくて暇なんです（笑）。“じゃあ、

DVD第2弾!! 暗い青春を送ってきたと語るふたりが魅せる、せつなく、愛おしく、笑える"ねじれた青春コント"は必見!!

幕間の映像を考えて”と言わせて、結果がこれです。ここは、本編とはまたちょっと違うところなので、気休め程度で。

●ライブ当日の思い出を教えてください。

溜口：「G」というゲイのネタがあるんですが、このネタの時に、塚本のチャックが全開だったんです。舞台上に現われた瞬間、開いてることに気づいて。“ちょっとやめてくれよ、設定がボケじゃなくなっちゃうじゃん”と思いました。

塚本：チラチラ見え隠れする開き方じゃなく、全開だったもんね。……あとは、このライブは複数回公演だったので、お客様の反応で修正を入れたネタがありました。特に「FIRE! FIRE! FIRE!」は、ただただ可哀相な人に見えたみたいで……。初日の後に溜口と“もうちょっと明るく演じようか”という話に（笑）。

溜口：それと、ポイントは塚本の女装シーンですよ。日増しにアイテムが増えてた。

塚本：最初はカツラと口紅だけだったんですけど、翌日にチケを入れて。

溜口：最終的につけまつげまで。

塚本：本当はイヤリングまでいたかつたんですけど、そう言ったら舞台監督さんに“急に何を言ってるんだ”と怒られました（笑）。

溜口：舞台袖の小道具を置くスペースに、化粧品がずらりと並んでいて……、あれはイライラしたよ（笑）。しかも結局、バスはバスなのに。

塚本：いや、最終日には調子悪い日の姉くらいまでは上り詰めたよ（笑）！

●本作の見どころは?

塚本：どこかしら探したら、親戚の親戚くらいに、僕らのネタに出てくるキャラみたいな目に遭っている人がいると思うんです。そう思ひながら、作っています。遠くない世界の話だということを、感じていただけたら。例えば「FIRE! FIRE! FIRE!」だって、作った後に思い出したんですけど、小学生の頃に友達が神社で花火をやって、燃やしちゃったことがあるんです。泣きながらお母さんに訴え出て、学校全体に“気をつけましょう”という注意が回ったんですよ。だから本当に、僕らのネタに出てくるような人、いると思います。

●プライベートについても伺いたいのですが、今ハマっていることは?

塚本：岩盤浴ですかね。何の努力もせずに、汗をかけるじゃないですか。サウナつて、熱さを我慢しなくちゃいけないでしょ。ただ寝てるだけでいい岩盤浴は、本当に楽なデトックスです。あの……語弊があつたらイヤなんんですけど、岩盤浴って男女兼用なんですよ。そこもいいですよね。

溜口：いや、語弊だよ！ 語弊しかないよ！！

塚本：単純に家族連れもいれば、カップルもいるし。一日中いられるので、岩盤浴しながらネタを作ったりもしています。

溜口：で、僕がハマっていることは……混浴風呂です。

塚本：やっぱいい！ コンビ揃って（笑）!!

溜口：いやいや、意味合いが違うから。きっかけは、うちのマネージャーから“混浴の秘湯へ行ったら、ギャルがいっぱいいた”と聞いて、そこからハマりました。

塚本：意味合い、同じだよ！ というか、不純しかないよ！！

溜口：でも、合法だし。

塚本：合法って（笑）！

溜口：秘湯って奥地にあるから、人よりも景色が楽しみなんだけれどね。そういう大人になってきたな、って。

塚本：ギャルを出した後じゃ遅いよ！ だいたい、混浴じゃない秘湯もあるでしょ。

溜口：まあまあ、僕の行った秘湯が、たまたま混浴だっただけだから。来月は、タオルを持ち込んでいい秘湯に行く予定です（笑）。

●だいぶ爽やかさからかけ離れてますけど、大丈夫ですか？

塚本：そうですね……えっと、グアバジュースにハマってます。

●一気に爽やかになりました！ さらに、これから野原も教えていただけますか？

塚本：東京以外で単独ライブをやりたい、という気持ちはあります。

溜口：確かに。僕らのネタを観たことない人が、いっぱいいるので。ラブレターズのオールナイトニッポン0』）のパーソナリティをやっていた時は、全国各地から「ネタを観たいので、地元に来てください」という声が届いていたんです。そして、各地の秘湯に入りたい（笑）。

塚本：めっちゃあると思うよ、各地の秘湯。

●ただ、秘湯のある地域となると、“なぜここで単独ライブ……？”みたいなエリアで公演することになりそうですが。

塚本：温泉街ばかり、回ってね。

溜口：旅一座みたいでいいかも（笑）。

●読者のみなさんへメッセージを！

塚本：5月に、次回の単独ライブがあります！ ゼひ今回のDVDを観て予習してもらって、免疫をつけてから（笑）生を観に来てください。やっぱり、生のライブも観ていただきたいので。

溜口：ラブレターズは、このペーパーを読んでいるお笑い好きの人には知っていると思うので、次はうちの大福をよろしくお願ひします（笑）。



『ラブレターズ単独ライブ LOVE LETTERZ MADE「SIREN」』

コン・ファンの注目を集めれるラブレターズDVD第2弾!! 第7回単独ライブ「SIREN」を完全収録! 進化する“ねじれた青春コント”!!

ANSB-55188
¥3,000+税
2015年4月22日発売

神宮前四丁目視聴覚室

[第6回]香川県在住のお笑いDVDコレクター菅家志乃歩の名盤DVDレビュー!

今回は『トップリードのコント集』である。その簡潔過ぎるタイトルの通り、太田プロダクション所属のお笑いコンビ、トップリードのコントが収録されている。もとい、トップリードのコント“しか”収録されていない。

『オンバト+』初代チャンピオンにして、『新世紀ネタキング決定戦』グランドチャンピオンでもある実力者の彼らに、余計なア

ピールは必要ないということだろうか。

そのストイックな姿勢は、コントにも表われている。あまりにも狭すぎて調理作業にも不具合が生じる「狭いラーメン屋」とてもせっかちな男が平然と未来を予知する「先行く男」、気になる男性との距離を縮められるようにこっそり企画者と画策する「コンパのトイレタイム」など、どのコントも設定そのものの面白さをしっかりと引き出

している。とりわけ、雨が降る建設予定地で、傘を差しながら打ち合わせを始める「雨の建設予定地」は、珠玉の一作と言えるだろう。誰もが一度は経験したことがある状況だけで一本のコントを編み上げる技術は、もはや職人技と呼ぶに相応しい。

しかし、これだけのレベルのコントを生み出しているにも関わらず、トップリード名义による作品は、本作(2010年12月1日発売)と『単独ライブ「二日坊主』(VAP/2012年2月22日発売)しか存在しない。恐らくは、実力が売上に反映されていないのだろう。とはいって、彼らは明らかにライブ志向のコンビ。そのコントの面白さが多くの人たちに知られるようになるまで、どうか長い目で見守ってもらいたい。だから、そろそろ新作を……。

菅家志乃歩(すがやしのぶ)

1985年生まれ、香川県在住のお笑いDVDコレクター。お客様目線のお笑い考察でブログ「逢魔時の視聴覚室」やTwitterを中心に注目を集めている。

Blog:<http://omoshow.blog95.fc2.com/>
Twitter:@Sugaya03

トップリード 『トップリードのコント集』



トップリード 『トップリードのコント集』

コント職人トップリードが魅せる渾身のコント集!
数多くのネタを詰め込んだトップリードが満喫できる一枚。

ANSB-5994
¥1,905 + 税 販売中

サイドに生き残りがいる程度だ。何がタモリだ福山だ。

結局3人は閉店間際まで真剣に頭髪復旧の話を続け、店内の全員から“いやハゲどるやないかい”的視線を集めていた。



写真:阿諱訪泰義(うしろシティ)

宇宙 日本 居酒屋

うしろシティ・阿諱訪泰義の書き下ろしコラム! Vol.6『筈塚ホワイト』



最近通うようになつた炬舎焼き屋のカウンターでメニューを見ていたら、ボトル・ウィスキーの欄にサントリー・ホワイトという文字を見つけた。嬉しくなり、さっそく注文する。このウィスキーを強めの炭酸で割つてレモンをキュッと絞ったハイボールは格別の味わいで、一気に飲み干すと、溜め息と安堵と疲労が混ざり合つた気体が口から吹き出た。

嬉々として2杯目を作つてある時、後ろのテーブル席から男3人の会話が聞こえてきた。
「だから、そんな高いシャンプーは無駄な

んですよ。」「いや無駄じゃない。この辺とか増えてきますからね? ほら」「増えてます?」「増えてない。」「増えてるは言い過ぎた。でも、濃くなってきてますからね?」

頭髪の話だ。若手芸人界も高齢化の一途をたどり、ライブ会場の楽屋などで頻繁に交わされる頭髪の話。

私の家系は毛量が多く、思春期の頃は大量に抱え込むコンブレックスのひとつとして自分の髪を忌み嫌っていたし、ともすれば“少なくなれ”と祈っていたものだから、薄毛の悩みを聞いた時には人それぞれ悩みは違うな、くらいにしか考えていな

かった。

しかし“朝起きたら髪が全部抜けている夢を見た”や“自分より髪の多い人全員を位の高い人だと思っている”等、その悩みは相当に深刻なものだと教えられた。

「だから、お湯なんですよ。シャンプー使わずに、お湯で洗う。」

「なんか洗った気がしなそうですねえ」

「福山雅治がやってますからね? タモリもですからね?」

「ほんとに?」

「はい。まだ私は1週間くらいですけど、ほらココ。前より増え……太くなってる」

「ほんとですかー?」

どうやら3人に共通して“太くなるべく増え”という価値観があるようだ。果たして髪の毛とは増える前に太くなるものなのだろうか。そして友人にお湯で洗う方法を教えてやろうかな、などと考えつつトイレに向かおうと席を立つ私は、その3人を見て衝撃を覚えた。

全員ハゲてる。

高いシャンプー一信者の男も、お湯で髪を洗う男も。一番喋っていない男だけがまだ両

日本エレキテル連合の“コンテンツ電気”

日本エレキテル連合・中野聰子の唯一無二な存在感が炸裂するアートな世界! 【其の六】



「春」

衣替えをサボつた結果、ニットやタートルネックが毎日汗ばんでいます。とうとう春がやつてきました。

私の相方はすっかり浮かれています。春が大好きなんだそう。能天気な相方は気候が良いと言う理由で毎年春が訪れる度、き

やびきやびしています。それとも盛っているのかな。

私はあの子と打って変わり春が苦手なのです。

春は入学や就職など、環境に大きな変化が生じます。私はその度リセットされる人間関係に悩まされて、器用に渡つていませんでした。だから春めいてきたら何とか憂鬱になるのです。

鳥のさえずりも、色とりどりのお花もみん

Pick Up Discs



うしろシティ
「うしろシティ単独ライブ
「それにしてもへんな花」」

東京・大阪で行なわれ、チケットが即完売となつた第5回単独ライブを映像化! うしろシティ作品で初となる副音声コメントを収録!!

ANSB-55176
¥3,800 + 税 販売中



日本エレキテル連合単独公演
「日本エレキテル連合単独公演「エレキテルプラネット」」

最新の単独公演が遂にリリース。ケンとクミ、朱美ちゃんと細貝さんを始めとする、数々の名物キャラクター総出演。

ANSB-55182
¥3,000 + 税 販売中



あばれる君
『あばれる君です。よろしくお願いします。』

ステージの熱気をそのままパッケージに詰め込んだ、あばれる君渾身の熱血ひとり芝居!!

ANSB-55165
¥3,000 + 税 販売中

イラスト:中野聰子(日本エレキテル連合)

SHOW COM Vol.6

コンテンツリーグのウェブサイトでは、DVD情報だけでなく、芸人のインタビューも掲載しています。

Published by Contents League
<http://contentsleague.jp>
© 2015 Contents League Inc.
All Rights Reserved.



CONTENTS LEAGUE